

## 家庭での生活習慣を改善して・・・学力UP！

4月に「とちぎっ子学習状況調査」「全国学力・学習調査」が行われます。

	対象学年	教科	内容
「とちぎっ子学習状況調査」	第4学年 第5学年	国語・算数・理科	前学年までの 基礎的・基本的な知識・技能 思考力・判断力・表現力
「全国学力・学習調査」	第6学年	国語・算数・理科 生活習慣や学校環境に関する質問	前学年までの 基礎的・基本的な知識・技能 思考力・判断力・表現力

◇児童の学力上の課題は・・・

- 話し方の工夫に気をつけて聞くこと
- 算数の活用力 「数と計算」「図形」数量関係の「知識・理解」
- 国語の「話す・聞く力」



◇児童の生活習慣・学校環境に関する課題は・・・

- 家庭学習の習慣
- 3割の子どもは、1日2時間以上ゲームをしている

→ 携帯電話やスマートフォンの使用時間が長いほど成績が低い傾向があります。

小6で1日4時間以上使用する児童の算数Aの平均正答率は66.6%、30分未満の児童は79.8%です。

平日に1時間以上ゲームをする児童は54.4%、4時間以上になると10%の正答率しかありません。

- 「自分にはよいところがある」「自分の言動や発言に自信をもっている」という意識が低い。といった課題があります。

そこで家庭では・・・

- **毎日決められた時間に学習する習慣** をつけましょう。子どもの学習したものに目を通し、いつも気にしているよというメッセージを送りましょう。
  - 漢字練習帳に間違った漢字を練習していることがあります。
- **携帯電話やスマートフォンを使う時の約束、ゲームをする時の約束** を決めてください。そして一度決めた約束には例外を設けず、破ることを許さないという姿勢が重要です。栃木県教育委員会では、携帯電話やスマートフォンを持たせないようにしましょうと訴えています。
- **「早寝・早起き・朝ごはん」** の規則正しい生活を！
  - 健康的な生活は学力向上に大きく関わっています。
- お子さんのよいところを見つけて **「ほめる・励ます・認める」** ことが大切です！
  - 子どもの自己有用感、責任感、自尊感情を育てるには、まず親が子どものよいところを見つけてほめることから始まります。詳しくは、**ペアレント・トレーニング** を参照してください。
- **あなた（お子さん）がいて幸せだ。嬉しいというメッセージ** を伝えましょう。
- **家族の一員として役割（お手伝い）** を与えましょう。
  - その都度「ありがとう」の感謝の言葉 を伝えましょう。

